

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2018年9月17日

事業所名：こどもプラス小野教室

| 区分       | チェック項目  | 現状評価(実施状況・工夫点等)   | 保護者の評価   | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容  |
|----------|---|---|--|---|
| 環境・体制整備  | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・十分確保できている</li> <li>・利用児童の動きなどによっては少し窮屈に感じることもある</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人数の多い時には少し狭く感じる</li> <li>・スペースは現在のままで十分</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児童の人数や状態などに応じてスペースを区切るなどの工夫をしながら安全で適切な支援を行っていく</li> </ul> |
|          | 2 職員の適切な配置  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な人員配置を行っている</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・されていると思うがよく分からない</li> <li>・詳しいことはわからない</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、適切な配置をしていく</li> </ul>                               |
|          | 3 利用児童にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・数か所に段差がある</li> <li>・気が散りやすい利用児童がいるので掲示物は必要最小限にしている</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーにはなっていない</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後利用児童によって必要があれば可能な範囲でバリアフリー化も検討する</li> </ul>               |
|          | 4 清潔で、心地よく過ごせ、利用児童の活動に合わせた生活空間の確保                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の清掃を徹底している</li> <li>・その都度利用児童に合わせて環境設定を行っている</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋がもう少し広ければ利用児童のエネルギー発散になるのではないかと</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児童の状態に合わせてその都度怪我無く安全に過ごすことの出来るよう工夫を行っていく</li> </ul>       |
| 業務改善     | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各利用児童に合わせた目標設定をし、業務後振り返りを行っている</li> <li>・月1回職員ミーティングを行っている</li> </ul>     | /  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も現状に満足することなく、研鑽に努めていく</li> </ul>                          |
|          | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、外部評価は実施していない</li> </ul>  | /  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後必要に応じて実施も検討</li> </ul>                                    |
|          | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修や内部研修を行っている</li> </ul>  | /  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も積極的にそういった機会を取り入れていく</li> </ul>                           |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを適切に行い、利用児童と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とのアセスメントに加え、他機関でのアセスメントの結果も踏まえて個別の支援計画を作成している</li> </ul>               | /  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もそれぞれの状態やニーズに沿った計画を作成するために丁寧なアセスメントを行っていく</li> </ul>      |
|          | 2 利用児童の状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に支援計画を作成した上でそれぞれに合わせた支援を行っている</li> <li>・毎日集団活動として運動あそびを行っている</li> </ul> | /  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動あそびに限らず、土祝などのイベントなどでも集団活動を積極的に取り入れていく</li> </ul>          |
|          | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における利用児童の支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画で各児童の課題・目標の設定を行い、具体的な支援内容を定め、記載している</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかりと計画してもらって、丁寧に説明もしてもらっている</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もそういった記載を徹底していく</li> </ul>                                |

| 区分           | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等)                            | 保護者の評価  | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容         |   |
|--------------|--------|--|---|----------------------------|---|
| 適切な支援の提供(続き) | 4      | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施         | ・各児童発達支援計画に沿って適切に支援を行っている   | ・詳しいことはよくわからない             | ・今後も適切な支援を行っていく   |
|              | 5      | チーム全体での活動プログラムの立案                          | ・全体の意見を取り入れながら適切な活動内容を決定している  |                            | ・今後も全体の意見も取り入れながら偏りのない支援内容を決定していく   |
|              | 6      | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援                     | ・イベントを実施するなどしながら適切な支援を行っている   | ・曜日や時間の変更にも対応してもらっている      | ・休日などはサービス提供時間も長くなるので、長期休暇などにはさらに丁寧かつ適切な支援を意識し、実施していく                             |
|              | 7      | 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施                     | ・土曜祝日などに毎回イベントを計画し、実施している<br>・平日には安心して過ごすことが出来るようタイムスケジュールは固定し、運動あそびなどの内容をその都度利用児童に合わせて計画している | ・土祝などには様々なイベントをしてもらい楽しんでいる | ・今後も利用児童の安心、安全を最優先に考え、活動内容を決定していく<br>・長期休暇などにはイベントを積極的に取り入れていく                    |
|              | 8      | 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底       | ・毎日その日の利用児童、それに応じた活動内容とその役割分担、また送迎の確認などを行っている。  |                            | ・現在も行っているが、今後も引き続き、支援内容、役割分担の確認を徹底していく  |
|              | 9      | 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | ・サービス提供時間終了後、その日の利用児童の様子や連絡事項について情報共有を行っている   |                            | ・今後も引き続き情報共有の徹底に努めていく   |
|              | 10     | 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施          | ・全体での児童活動日誌、個別支援記録の記入を徹底し、その都度必要に応じて支援内容の検証・改善を行っている  |                            | ・記録等の記入に関しては今後も細心の注意を払いながら行っていく<br>・また支援の検証・改善に関しても職員間での情報共有を徹底し、必要な支援が行えるよう努めていく |
|              | 11     | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し  | ・少なくとも半年に1度モニタリングを行い、計画の見直しを行っている   |                            | ・今後も定期的にモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しを行っていく  |

| 区分       | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等)  | 保護者の評価  | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容                                |  |
|----------|--------|--|---|---|--|
| 関係機関との連携 | 1      | 利用児童の状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画                                     | ・児童発達支援管理者が担当者会議に参加している   |   | ・今後も児童発達管理責任者によるサービス担当者会議への参画を行っていく          |
|          | 2      | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施       | ・現在対象児童なし   |   | ・今後そのような児童の利用がある際には関係機関と連携しながら支援を進めていく       |
|          | 3      | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備                   | ・現在対象児童なし   |   | ・今後そのような児童の利用がある際には協力医療機関等との連絡体制を整備していく      |
|          | 4      | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有           | ・相談事業所を通じての情報共有は行っている   |   | ・今後利用児童によって必要があれば各関係機関との直接の情報共有を行っていく        |
|          | 5      | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、             | ・現在までにそのようなケースがない   |   | ・現在利用中の児童がそういったサービスに移行していくことを考慮しながら支援を継続していく |
|          | 6      | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進                                    | ・現在の所そのような研修の機会はありません   |   | ・今後そのような研修の機会をさらに増やしていきたい                    |
|          | 7      | 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | ・土祝のイベントで地域の児童館や公園などへ出かけることがある                                  | ・障害のない子どもとの交流は必要なのか<br>・現在の状況ではそういった交流難しいのではないかと  | ・今後保護者からの要望などがあればそのような機会も増やしていく              |
|          | 8      | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営  | ・現在のところそのような行事などは行っていない   |   | ・今後保護者、また地域からの要望があれば検討していきたい                 |
|          | 1      | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明   | ・重要事項説明書や契約書に明記した上で、契約時に丁寧に説明を行っている<br>・保護者から質問などがあればその都度説明している | ・契約の時に丁寧に説明してもらった<br>・不明な点があつて尋ねた時にわかりやすく説明してもらった | ・今後も漏れの無いように、契約時などに丁寧な説明を行っていく               |

| 区分             | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等)                                 | 保護者の評価   | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容                            |   |
|----------------|--------|---|--|---|---|
| 保護者への説明責任・連携支援 | 2      | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明         | ・毎回児童発達支援管理責任者によって計画内容を示しながら支援内容の説明を行っている                              | ・変更があるときなどには説明してもらっている                        | ・今後も保護者にとって分かりやすく丁寧に説明するよう努めていく                           |
|                | 3      | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施    | ・現在は行っていない   | ・されていない                                       | ・今後保護者会や他の機会を利用し行っていくことを検討中                               |
|                | 4      | 利用児童の発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底              | ・連絡帳、電話連絡、また送迎時の対話などによってできる限り情報共有できるよう努めている                            | ・毎日その日の様子などを伝えてもらっている                         | ・引き続きその日の状態や今後の支援の方向性などを示しながら情報共有に努めていく                   |
|                | 5      | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施             | ・その都度相談を受け対応している<br>・その場での対応が難しいものなどに関しては持ち帰りスタッフで相談の上で助言等を行っている       | ・不安に思うことなどを相談した時には丁寧に話をしてくれている                | ・今後も職員一同で丁寧かつ適切な対応を心がけていく<br>・また職員間での情報の共有も引き続き徹底していく     |
|                | 6      | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援                | ・現在までに1回行っている  | ・1度あったが参加できていないので内容まではわからない                   | ・今後も3~4か月のペースで行っていく予定                                     |
|                | 7      | 利用児童や保護者からの苦情に対する対応体制整備や、周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | ・苦情窓口を設置し、教室内に掲示している<br>・その内容を契約時に丁寧に説明を行っている                          | ・現在までに苦情などはない<br>・契約の時にそういった窓口があることの説明はしてもらった | ・引き続き苦情が出ないよう丁寧な対応を徹底する<br>・そういったご意見が出た際には迅速、かつ丁寧な対応をしていく |
|                | 8      | 障害のある利用児童や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮                 | ・対応は常に笑顔でするなど保護者の方が話しやすい雰囲気づくりに努めている<br>・個人情報の取り扱い・管理には細心の注意を払って対応している |   | ・今後も失礼な対応などが無いよう職員一同で徹底していく                               |
|                | 9      | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての利用児童や保護者への発信  | ・毎月の行事予定を配付している<br>・行事の内容はブログを通じて発信している                                | ・行事予定を毎月もらっている<br>・イベントの時などにブログを見せてもらっている     | ・ブログはイベントなどの内容だけでなく、保護者支援などの内容のものも充実させていく                 |
|                | 10     | 個人情報の取扱いに対する十分な対応                               | ・契約時に同意書にサインをもらっている<br>・職員への個人情報の扱い方の周知を徹底している                         | ・利用児童の写真をブログに載せないなどの説明を契約の時にしてもらった            | ・今後も個人情報の管理を徹底していく  |

| 区分      | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等)  | 保護者の評価   | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |   |
|---------|--------|--|--|--------------------|---|
| 非常時等の対応 | 1      | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底                                 | ・各マニュアルを策定しているが、周知が不十分                                       | ・実際に策定されているのか分からない | ・避難訓練を行った際などに、そういったマニュアルに基づいて行っていることも、ブログなどを通じて発信していく |
|         | 2      | 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施   | ・避難訓練は少なくとも半年に1回を目標に計画している                                   | ・よく分からない           | ・今後も少なくとも半年に1度は行っていく予定<br>・また行った際にはブログや連絡帳で発信していく     |
|         | 3      | 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応  | ・研修に参加している   |                    | ・今後もそういった研修機会を積極的に取り入れていく                             |
|         | 4      | やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、利用児童や保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | ・現在のところ身体拘束が必要な利用児童がいない<br>・パニックになった際などには別室でのクールダウンなどで対応している |                    | ・今後身体拘束の必要性がある利用児童を受け入れる際に事前説明と了解、またその記録を徹底していく       |
|         | 5      | 食物アレルギーのある利用児童に対する医師の指示書に基づく適切な対応  | ・現在の所、対象の利用児童がいない  |                    | ・今後そういった利用児童を受け入れる際には適切な対応をしていく                       |
|         | 6      | ヒヤリハット報告書の作成及び事業所内での共有の徹底  | ・報告書を作成し、事業所内で共有している   |                    | ・今後も報告書の作成を徹底していくとともに、ヒヤリハットが発生しない環境整備や支援を継続していく      |